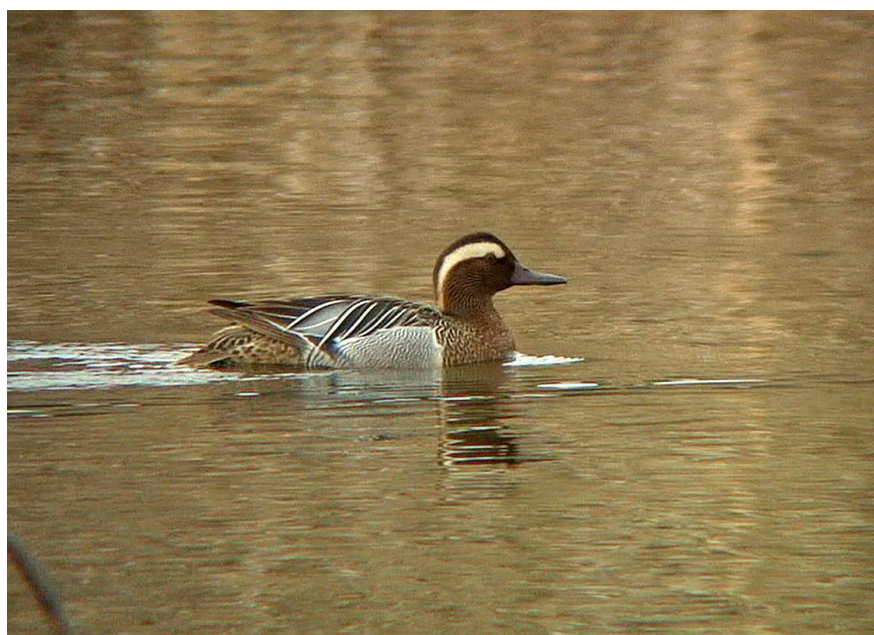


シマアジ（カモ科） 全長38センチ

5月上旬の大浦沼。

まだ北に向かっていないコガモの群れの中、1羽のシマアジが見つかった。10数年前に一度だけ撮影しただけで、暫くぶりの再会です。

成鳥オスの白い眉斑はよく目立ち、他のカモ類と見間違えることはありません。大きさはコガモと同じくらいで羽の色も似ているので、よく見ていないと見落としてしまうでしょう。



明瞭な白い眉斑が特徴のオス。

ネットで「シマアジ」と入力すると、高級魚で美味しい大型のアジ（鰺）とか、美味しい調理の方法などが並び、ほとんどが魚の情報であった。知名度では魚に負けていました。

シマアジは、ユーラシア大陸の温帯から亜寒帯で繁殖します。越冬地と繁殖地を移動する途中に旅鳥として日本に立ち寄るが、個体数は少ないとされる。そのため、認知度が低いのはやむを得ないことです。



後姿



羽ばたきの一瞬。

コガモとは相性が良くいつも一緒に行動していた。

翌日再び沼に行ってみたら、シマアジは見つかりません。繁殖地に向かい旅立ったのでしょうか。たった一日だけのお付き合いでした。

野鳥のシマアジは「縞味」と、魚の方は「縞鰻、島鰻」と表記されています。



手前のコガモ・オスとほぼ同じ大きさです。



目が白いのは、瞬膜に切り替わった瞬間でした。